

三栗渚園自治会地区防災計画

令和4年度版

1. はじめに	1
2. 対象地区の範囲	
3. 居住者等が持つべき避難に対する基本姿勢	2
4. 地域の自然特性	3
5. 地域の社会特性	
6. 地域の災害特性（局地的大雨と集中豪雨）	
7. 避難行動計画	4
8. 要配慮者（避難行動要支援者）等への支援	6
9. 平時の取り組み（避難に向けた具体的なステップを確認する）	
10. 課題の掘り起こしと訓練	7
11. 会議・講習会等	
12. 最後に	8
13. 参考	9

1 はじめに

過去日本では、たびたび大きな風水害に見舞われている。

近いところでは、平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害が発生(死者74名)。

平成27年9月の関東・東北豪雨災害では、(鬼怒川を含む80の河川の決壊、越水や漏水、溢水、堤防法面の欠損・崩壊などが発生)。

平成30年7月豪雨では、大雨特別警報が11府県に発表される記録的な大雨により、岡山県・広島県・愛媛県を中心に河川の氾濫、土砂災害等が多数発生し、死者・行方不明者が200名を超え、昭和58年8月豪雨以来死者数が初めて100名を超える大惨事となった。

令和元年台風第19号(令和元年東日本台風)では、1都12県309市区町村に大雨特別警報が発表され、国及び県管理河川において142箇所が決壊する等、同時多発的かつ広範囲に甚大な被害が発生した。これらの豪雨においても、避難しなかった、避難が遅れたことによる被災や豪雨・浸水時の屋外移動中の被災、また高齢者等の被災が多く、いまだ住民の「自らの命は自らが守る」意識が十分であるとは言えない。

住民が「自らの命は自らが守る」意識を持って避難行動をとる、住民主体の取り組みによる防災意識の高い自治会を構築することを目的とするため、住民自身が主体になって、防災計画策定に取り組むこととする。

2 対象地区の範囲

本計画の対象範囲は「三栗渚園自治会」とする。



3 居住者等が持つべき避難に対する基本姿勢

居住者等は、水害・土砂災害を未然に防止する堤防・ダム、砂防堰堤等既存の防災施設、行政主導の避難情報や防災気象情報の改善、市町村の防災体制の整備等のソフト対策には限界があることをしっかりと認識するとともに、自然災害に対して行政に依存し過ぎることなく、「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、自らの判断で主体的な避難行動をとる。

主体的な避難行動をとるにあたり居住者等が留意すべき事項は以下のとおりである。

- (1) 平時より日常生活において自らが居ることが多い場所の災害リスクを把握するとともに、適切な避難行動、避難のタイミングは各居住者等で異なることを踏まえ、災害種別毎に自宅・施設等が、立ち退き避難が必要な場所なのか、上階への移動等で命に危険が及ぶ可能性がなくなるのか等についてあらかじめ確認・認識し、災害時にとるべき行動を自ら判断する。
- (2) 平時より、予定している避難経路が安全であるかどうかを確認しておく必要がある。例えば大規模な河川の氾濫がなくても水路や下水道の氾濫により足元が濁水で見えにくくなり道路の側溝や蓋が外れたマンホール等に落下したり、小規模な土砂災害が発生したりする場合があることを踏まえ、安全な避難経路を検討する必要がある。また、必要に応じ、避難先や避難のタイミングそのものを見直す必要がある。
- (3) これらの平時に確認・検討するべき内容について、避難行動をとるとともにすることが想定される家族や地域等と共有し、災害時には可能な範囲で声を掛け合って避難する。
- (4) 夜間や暴風時の立ち退き避難は危険を伴う。夜間に災害の状況が悪化する見込みがある場合はまだ日が明るいうちから避難するべきであり、暴風が予想される場合は、昼夜を問わず暴風が吹き始める前に避難を完了させる。
- (5) 避難情報の発令対象区域は一定の想定に基づいて設定されたものであり、その区域外であれば一切避難しなくても良いというものではなく、想定を上回る事象が発生することも考慮して、危険だと感じれば、自主的かつ速やかに避難行動をとる。
- (6) 自動車による避難は、移動中に洪水等に見舞われることや渋滞を発生させるおそれがあることに留意する。また、一時的な避難先としてやむを得ず車中泊をする場合においては浸水等の災害リスクのある区域等に留まらないようにするとともに、エコノミークラス症候群等の予防を行う。
- (7) 避難行動への負担感、過去の被災経験等を基準とした災害に対する危険性の認識、自分は災害に遭わないという思い込み(正常性バイアス)等によって避難行動をとるタイミングを逸することのないよう、行政から提供される避難情報や防災気象情報のほか水位情報や画像情報等のリアルタイム情報等を自ら確認し、適時的確に避難行動を取る。
- (8) 災害が発生する前の、災害のおそれがある又は高い状況で市町村長から避難情報が発令されることから、実際には災害が発生しない「空振り」となる場合がある。避難した結果、何も起きなければ「幸運だった」という心構えをすることが重要である。
- (9) 他者からの避難の呼びかけが大きな動機付けになる場合があることから、自らの親戚・知人

等が災害リスクのある区域等の居住者等である場合には、電話等をして避難を強く促す。

4 地域の自然特性

三栗渚園自治会が属する、小倉校区が位置する地域は、淀川の本流が作り出した、標高20m以下の河川沿いの低地部と、枚方南東端、標高100m以上の生駒山地北部を水源とする河川(穂谷川)が流入する河川の氾濫原が広がっている地域に属している。

小倉校区の北側の端を淀川水系の主要な一級河川の穂谷川が直接淀川に注いでいる。また、校区の中を、淀川の2次支流の北川と1次支流の黒田川が、それぞれ、ほぼ三面張りの川相で住宅地の中を貫流、蛇行して淀川に注いでいる。その川沿いの自治会を含め、広範囲に浸水想定区域が広がる地区である。

本自治会は、京阪電鉄本線に沿って大阪に向かって右側、府道京都守口線との間に挟まれている地区である。標高8.5m~9.5m、自治会の横を走る京阪電鉄本線の線路の高さより、低い土地に住宅地が立っている。

5 地域の社会特性

本自治会は、京阪電鉄本線牧野駅と御殿山駅のちょうど中間に位置し、今から50年以上前に開発された土地に、戸建てが大半を占めている住宅地である。令和4年9月現在、世帯数は215世帯、住民人口は455人であり、内75歳以上の人口は195人で42.8%を占め、全般に高齢化が進んでおり、独居高齢者数も増加傾向にある。

6 地域の災害特性 風水害(局地的大雨と集中豪雨)

(1) 河川の氾濫による浸水(淀川、穂谷川、天野川)

大雨により、近くを流れる河川の増水で、破堤・越水・溢水等で地域の広域が浸水する恐れがある。

自治会の地区全体が淀川、穂谷川、天野川の浸水想定区域に入っており、特に淀川の浸水深は、3.0m以上5.0m未満が全ての地区に入っている。

淀川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションした予測の浸水継続時間は、12時間以上24時間未満である。その淀川の本流から自治会までは、最短距離で約500m弱である。

(2) 大雨による内水氾濫で、低地の排水不良による浸水

自治会の位置する横を、京阪電鉄本線と並行して淀川に流れ込む、三面張りの川相の、1次支流の黒田川が流れており、少し下流に、甲斐田川との合流地点があることから、局地的大雨等集中豪雨となると、川の水位が急に上昇する。

近年頻発する、1時間降水量が100mmを超えるような短時間の局地的大雨や集中豪雨では、下水道の排水能力(1時間降水量50mm程度)を上回るため、水路が溢れる

などの排水不良により家屋が浸水する恐れがある。

過去幾度か、大雨の時にはマンホールから水が溢れ、又、家のトイレや風呂からの下水の逆流の恐れがあることから、水を流すのを控えるようにとの連絡が関係機関から入ることもあった。

実際30年ぐらい前には、床上・床下浸水の被害を受けたこともある。

7 避難行動計画

早期避難を基本とし、以下のとおりに行動する。

- (1) 地区住民は、普段から避難場所や避難所、避難経路の把握に努め、準備している非常持ち出し品袋を持参して避難できるようにしておく。
- (2) 普段から市や公的機関、テレビ、ラジオ等の情報発信に留意し、早期避難を心掛ける。
- (3) 要配慮者（避難に時間がかかる人や支援が必要となる人）は、公的避難所の開設をもって避難開始（高齢者等避難）とする。また、台風や豪雨等により風水害、土砂災害が予想される場合は、一時避難場所、避難所が開設され次第、早めに避難する。必要があれば、避難情報発令前の避難（事前の自主避難）も考慮する。
 - ※ 自主避難体制については、自治会（自主防災組織）と行政等が普段から協議しておく。
 - ※ 要配慮者等の名簿は個人情報保護に留意して別途定める。
- (4) 自宅から避難する際は、先ずは一時集合場所に集まる。ここでは近隣の被災状況や安否等も含めた情報交換を行う。また避難予定施設までの道路情報収集に努め、安全を最優先に避難施設と経路を決定し、速やかに避難する。
 - ① 風水害時の緊急避難は、道路冠水・土石流・崖崩れ区域の現状を十分把握したうえで、単独行動はできるだけ避け、極力複数人で避難する。
 - ② 大地震時の緊急避難は、建物・塀の倒壊や土石流・崖崩れの危険な場所をできるだけ避け、道路の地割にも十分注意しながら避難する。
- (5) 避難誘導救護員は、避難時に配慮を必要とする人を把握しておき、必要に応じて避難時には消防や警察と協力して、声掛け、誘導等の支援を行う。
- (6) いったん避難したら、地区全体の安全が確認されるか、警報・注意報が解除されるまで、または避難した場所が危険な状況にならない限り、もしくは行政機関等から移動の指示が無い限り、その場所から移動しないことが望まれる。
- (7) 洪水が予想される場合や土砂災害等で避難所までの安全な避難ができない場合は、直ちに高所や緊急一時避難場所へ避難する。各自治会の緊急一時避難場所（地区住民が指定）は以下の通り。記載のない場合は市が指定する避難所とする。
- (8) 避難することで更なる危険が予想される場合は、その場で命を守る最善の方法を取る。
- (9) ペットを飼育している住民は、ペットを同伴し避難所まで安全に避難する。（※別途定めた避難所運営マニュアルの規定に従うこと。）

※ 命を守るために一時的に避難する場所を「避難場所」と呼び、避難が長期化した際に生活を送る場所を「避難所」と呼ぶ。

◆ 洪水が予見される場合

(緊急一時避難場所)

- ・直近の頑丈な建物(洪水避難ビル)等の3階以上
- ・標高20m以上の土地の場所
- ・三栗住宅団地の3階以上
- ・小倉小学校(3階以上)

(指定避難所)

- ・小倉小学校(3階以上)
- ・殿山第一小学校(上野1-6-5) ☎050-7102-9040
- ・大阪歯科大学牧野学舎(牧野本町1-4-4) ☎072-856-2111

◆ 避難行動を始める目安

避難情報 (枚方市が発令)	着目する河川 (水位観測所名)	水位 (標高)	取るべき避難行動
	淀川 (枚方)		河川が氾濫するまでに避難完了する
避難指示 発令	+5.50m (氾濫危険水位)	+11.10m	避難開始。 ・持ち出し品を持って、動きやすい靴で避難を開始する。(長靴は×) ・避難所への移動時に近所で声を掛け合う。
高齢者等避難 発令	+5.40m (避難判断水位)	+11.00m	各家庭で避難準備。高齢者等要配慮者は避難を開始。
— (洪水注意報) 気象庁等の情報	+4.50m (氾濫注意水位)	+10.10m	要配慮者に声かけ ・要配慮者がいる近隣の家には声をかける。 ・要配慮者は避難の準備を進める。

- ▲ 避難指示は水位以外に、堤防で【漏水】【浸食】などの現象が発生した場合にも発令される事があります。自治体からの情報を確認しましょう。
- ▲ 実際に淀川を見に行くのは大変危険です。パソコン・スマートフォン等のサイトやテレビで水位状況を確認しましょう。

8 要配慮者(避難行動要支援者)等への支援

災害時に大きな被害を受けやすいのは、高齢者や障害者、子供など人の助けを必要とする人(広い意味で要配慮者(避難行動要支援者))である。要配慮者に対して、皆で協力して支援を行うことが大事である。

- (1) 要配慮者(避難行動要支援者)の立場に立って、防災環境の点検・改善を行う。
- (2) 避難するときは、隣近所の助け合いが重要で、複数の避難支援者を決めておくことが重要である。
- (3) 困っている人、要配慮者(避難行動要支援者)には温かい気持ち、思いやりの心を持って接する。
- (4) いざというときに円滑に支援ができるように、日頃から要配慮者(避難行動要支援者)とのコミュニケーションを図る。
- (5) なお、避難に特段の配慮が必要な避難者は、優先的に福祉避難所に避難しなければならないので、必要。必要なら家族の意向を受け避難に協力する。

9 平時の取り組み(避難に向けた具体的なステップを確認する)

- (1) 自宅のハザードの確認(枚方市防災ガイドのハザードマップで確認)
- (2) 立ち退き避難と屋内安全確保の確認
 - ◆ 立ち退き避難の場合
- (3) 避難時の人員(家族・高齢者・子供・近所の人等)
- (4) 避難場所の選定 指定避難所(校区内・校区外)・親戚・知人宅・公民館・ホテル・車中泊・その他等
- (5) 避難手段(徒歩・自家用車・車椅子等)
- (6) 避難経路と避難時間の確認(実際歩いてみて確認、危険箇所有無の確認)
- (7) 避難するタイミング(避難スイッチ)を決める
- (8) 非常持ち出し品の準備(チェックシート活用)
 - ◆ 屋内安全確保
- (9) 備蓄品の準備(チェックシート活用)
 - ◆ 家族防災会議
 - 避難情報の見直しに伴う知識の習得
 - 避難情報の収集の確認(防災行政無線・広報車・テレビ・ラジオ・インターネット・連絡網・その他)
 - 家族間の連絡方法を確認
 - 避難カードの作成

10 課題の掘り起こしと訓練

- (1) 避難経路を実際に、非常持ち出し袋を背負って歩いてみる(時間帯別、気象別)
- (2) 黄色いタオル作戦(安否確認をする手段): 日時を決めて自治会一斉に自宅玄関先に黄色のタオルを結び、担当者は自分の受け持ちを確認する訓練を実施
- (3) 車中泊想定訓練(車内のフラット化・エコノミークラス症候群対策等の検証)
- (4) 緊急連絡網の見直し整備(避難情報の伝達を確認)
- (5) マイタイムラインの作成
- (6) 防災ガイドの勉強会(防災の知識を高める)
- (7) 防災アンケートの実施(住民の声を拾う)

11 会議・講習会等

- (1) 自治会の役員及び防災隊等関係者による定期的な会議を行う。
- (2) 関係機関(市の危機管理部・校区コミュニティ協議会・校区自主防災会・地元消防団等)と連携し協議を行う。

12 最後に

あの東日本大震災時の津波が町を飲み込んだ映像は強烈な記憶でした。津波から命を守るために一番にとるべき行動は「素早い避難」です。専門家が提唱する「津波避難の3原則」、第1に「想定にとられるな」、第2に「最善をつくせ」、第3に「率先避難者たれ」というのがあります。あの記憶があるから今では、津波警報が発令されたら、すぐに高台に避難します。河川の氾濫による災害も同じだと思いませんか。

その1『想定にとられるな』

- ・予想以上の災害が起こる可能性があります。
- ・「ここまでは津波はこない」という想定にとられず、逃げる。

その2『最善をつくせ』

- ・「自分は大丈夫」「ここまで来ればもう大丈夫」ではなく、そのときできる最善の対応行動をとりましょう。
- ・できるだけ早く、高い所に逃げる。

その3『率先避難者たれ』

- ・いざという時は、まず自分が率先して避難する。
- ・率先して逃げる姿をみて、他の人も避難するようになり、結果的に多くの人を救うことにつながります。

※地区防災計画の策定にいたった動機づけ

地域の災害特性から、自治会としては地域住民の命を守るための風水害時の避難計画を作成しなければとずっと思い続けていた。

平成30年7月の西日本豪雨では、岡山県倉敷市真備町のほぼ住宅の全部が水に浸かった映像が、又、令和元年の台風19号による長野県千曲川の破堤により、川の水が激流となり住宅地に流れ込み、家を押し流していった映像をテレビ等で見た時は、同じことがここ淀川で起きてもおかしくないのでは？と思い、すぐに具体的で実効性のある住民の避難計画を作られねばと思いにいたったわけである。

自然災害から命を守るための10か条

1. 住み慣れた地区にどのような災害が起こるか知っておきましょう。
枚方市では、台風、大雨、土砂災害、地震などが想定されます。
2. 避難する場所を知っておきましょう。
災害によって避難する場所が変わってきます。
3. 避難場所までの安全に避難できる経路、到着時間を知りましょう。
散歩や通勤通学時を利用して実際に歩いてみます。
4. 非常持ち出し袋を準備しましょう。
水、食料、薬など自分に合わせた物品を準備します。
5. 防災訓練には積極的に参加しましょう。
訓練は、普段の備えが大丈夫なのか確認する作業です。
6. 普段から自治会(自主防災組織)の活動に参加しましょう。
顔の見える関係作りが、いざというときには効果を発揮します。
7. 災害が起こりそうな時は、テレビやラジオ、市の防災情報に留意しましょう。
公的情報を確実にキャッチすることが安全につながります。
8. 早期避難、率先避難を心がけましょう。
避難に早すぎるということはありません。自ら避難することが他の人の避難をうながします。
9. とおり近所と協力して防災・減災に取り組みましょう。
お互い様の意識で助け合うことが安全安心につながります。
10. 避難所の自主運営に協力しましょう。
避難所生活では生活不活発病が心配です。避難所でも積極的な生活を心がけることが大事です。

災害から尊い命を守るためには、一人ひとりが自ら決断し、避難行動をとることが必要不可欠です。

国民の皆さんへ ～大事な命が失われる前に～

- 自然災害は、決して他人ごとではありません。
「あなた」や「あなたの家族」の命に関わる問題です。
- 気象現象は今後更に激甚化し、いつ、どこで災害が発生してもおかしくありません。
- 行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。
自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。
- 行政は万能ではありません。
皆さんの命を行政に委ねないでください。
- 避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。
皆さんの命は皆さん自身で守ってください。
- まだ大丈夫だろうと思って亡くなった方がいたかもしれません。
河川の氾濫や土砂災害が発生してからではもう手遅れです。
「今、逃げなければ、自分や大事な人の命が失われる」との意識を忘れないでください。
- 命を失わないために、災害に関心を持ってください。
あなたの家は洪水や土砂災害等の危険性は全くないですか？
危険が迫ってきたとき、どのような情報を利用し、どこへ、どうやって逃げますか？
- 「あなた」一人ではありません。
避難の呼びかけ、一人では避難が難しい方の援助など、地域の皆さんで助け合いましょう。
行政も、全力で、皆さんや地域をサポートします。

「平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について」より抜粋
中央防災会議 防災対策実行会議
平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ

水害・土砂災害から命を守る

マイ・タイムライン

枚方市小倉校区自主防災会

マイタイムラインとは？

「マイ・タイムライン」とは、風水害（大雨や台風等）に備えて、前もって自分のとるべき行動を整理し、時間軸にまとめて作成する、避難行動計画です。

家族構成や生活環境に応じて、避難行動は変わるため、その内容は家族によって異なります。作成することで、「いつ」[何を準備して]「どのタイミングで」「どこに逃げるか」が明確となり、いざという時にあわてずに行動することができます。

家族で一緒に話し合って作成しましょう。

作成後は、いざという時のために、すぐに取り出せる場所に置いておきましょう。

注意

タイムラインはあくまでも行動の目安です。災害は想定通りに来るとは限らないので、臨機応変に対応しましょう。

枚方市小倉校区の地域の自然特性

小倉校区が位置する地域は、淀川の本流が作り出した、標高20m以下の河川沿いの低地部と、枚方南東端、標高100m以上の生駒山地北部を水源とする河川（穂谷川）が流入する河川の氾濫原が広がっている地域に属している。

校区の北側の端を淀川水系の主要な一級河川の穂谷川が直接淀川に注いでいる。また、校区の中を、淀川の2次支流の北川と淀川の1次支流の黒田川が、それぞれ、ほぼ三面張りの川相で住宅地の中を貫流、蛇行して淀川に注いでいる。その川沿いの自治会を含め、広範囲に浸水想定区域が広がる地区である。

枚方市小倉校区の災害特性の一つである、風水害（局地的大雨と集中豪雨）

●河川の氾濫による浸水

大雨による、近くを流れる河川の増水で、破堤・越水・溢水等で地域の広域が浸水する恐れがある。
(淀川 穂谷川、天野川)

●大雨による内水氾濫で、低地の排水不良による浸水

近年頻発する、1時間降水量が100mmを超えるような短時間の局地的大雨や集中豪雨では、下水道の排水能力（1時間降水量50mm程度）を上回るため、水路が溢れるなどの排水不良により家屋が浸水する恐れがある。

①洪水・土砂災害ハザードマップでしらべましょう

あなたの地域は以下のどの区域ですか？

- 土砂災害警戒区域
- 浸水想定区域（白色以外）
- 淀川
- 穂谷川
- 天野川
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 避難の必要がない区域

あなたの家の浸水深は何mですか？

	淀川	穂谷川	天野川
	<input type="checkbox"/> 5.0m以上	<input type="checkbox"/> 5.0m以上	<input type="checkbox"/> 5.0m以上
	<input type="checkbox"/> 3.0~5.0m	<input type="checkbox"/> 3.0~5.0m	<input type="checkbox"/> 3.0~5.0m
	<input type="checkbox"/> 0.5~3.0m	<input type="checkbox"/> 0.5~3.0m	<input type="checkbox"/> 0.5~3.0m
	<input type="checkbox"/> 0.5未満	<input type="checkbox"/> 0.5未満	<input type="checkbox"/> 0.5未満
	<input type="checkbox"/> 0m（白色）	<input type="checkbox"/> 0m（白色）	<input type="checkbox"/> 0m（白色）

あなたの地域の浸水継続時間は何時間ですか？ () 時間以上 () 時間未満

家族で決めた避難場所はどこですか？

- 自宅の上階（垂直避難）
- 親戚・知人宅・・・
- 市の指定避難所・・・
- 頑丈な建物・・・
- その他・・・

具体的な場所（複数ある場合は、優先順位をつける）

②避難に必要なことを備えましょう

家族や近所で避難に時間がかかる人はいませんか？

- お年寄り
- 障害者
- 乳幼児
- 妊婦
- その他 ()

家族の決まり事を記入

(例) 連絡をとる親戚、備蓄品のある場所

避難時の非常持ち出し品を準備しましょう

- | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| 非常食・水 | 日用品 | 高齢者用品 | 乳児・妊婦用品 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 洗面具・タオル | <input type="checkbox"/> 高齢者手帳 | <input type="checkbox"/> 母子手帳 |
| <input type="checkbox"/> 保存食 | <input type="checkbox"/> ティッシュ | <input type="checkbox"/> 補助具（杖） | <input type="checkbox"/> ミルク・離乳食・おむつ |
| 防災用品 | 貴重品 | 衣類等 | 救急医療品 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 現金 | <input type="checkbox"/> 下着・靴下 | <input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬 |
| <input type="checkbox"/> ラジオ | <input type="checkbox"/> 通帳・印鑑 | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> おくすり手帳 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話 | <input type="checkbox"/> 保健証・免許証 | <input type="checkbox"/> 雨具 | <input type="checkbox"/> 体温計 |
| <input type="checkbox"/> 軍手 | その他 <input type="checkbox"/> 消毒液 | <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> |

平常時の準備

雨が強くなる前に準備

気象情報・避難情報

◆台風や全線が発生！
(被害発生数日前)

警戒レベル1 早期注意情報
警戒レベル2 注意報発表

気象情報に注意しましょう

河川の水位が

- 水防団待機水位に到達
- はん濫危険水位に到達

大雨・洪水注意報 発表

避難行動を開始

●避難判断水位に到達

避難レベル3 (市が発令)
高齢者等避難

- ・避難に時間がかかる人とその支援者は危険な場所から避難を開始
- ・その他の人は避難の準備をし、危険を感じたら早めに避難

●はん濫危険水位に到達

警戒レベル4 (市が発令)
避難指示

- ・全員、危険な場所から避難を開始 (避難が必要ない箇所に民でいる人は除く)
- ・警戒レベル5発令の前に避難を完了しましょう

大雨・洪水警報 発表

土砂災害警戒情報 発表

この時点で避難完了

はん濫が発生

警戒レベル5 (市が発令)
緊急安全確保

- ・今すぐ命を守る行動をとります。
- ・逃げ遅れたら、近くの高い建物や家の2階に上がりましょう。

大雨特別警報 発表

身の安全を確保

避難する前の準備を考えよう

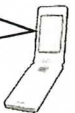
- 避難場所、避難経路の再確認
- テレビ、インターネット等で情報を収集する
- 家族の予定を確認、はぐれた時の連絡手段を確認
- 非常持ち出し袋の再確認
- 病院に薬をもらいに行く
- 携帯電話、モバイルバッテリーの充電
- 大切なものを2階に上げる
- 家の周りがある風に飛ばされそうな物の片付け
- 土のうの準備、窓や雨どいの点検

避難時の注意点等考えましょう

- 防災情報メール、テレビ等で避難情報を確認
- 動きやすい服に着替える (靴は運動靴)
- 近所の高齢者等に声かけする
- 戸締り、ガスの元栓を閉める、ブレーカーを切る
-



こちらは枚方市です。0時0分〇〇地区に警戒レベル4・避難指示を発令します。

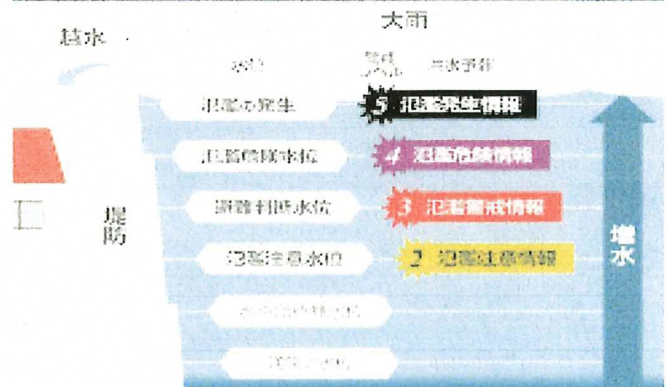


土砂災害警戒区域に住んでいる人は避難しましょう

避難方法を考えましょう

- ①避難するタイミング
 - 高齢者等避難 (警戒レベル3)
 - 避難指示 (警戒レベル4)
- ②避難場所
- ③移動手段
- ④移動時間 約 分

水位の変化と洪水予報



気象情報・避難情報

◆台風や全線が発生！
(被害発生数日前)

警戒レベル1 早期注意情報
警戒レベル2 注意報発表

気象情報に注意しましょう

河川の水位が

●水防団待機水位に到達

●はん濫危険水位に到達

大雨・洪水注意報 発表



災害への心構えを高める



自らの避難行動を確認

雨が強くなる前に準備

避難行動を開始

この時点で
避難完了

身の安全を確保

●避難判断水位に到達

避難レベル3 (市が発令)
高齢者等避難

- ・避難に時間がかかる人とその支援者は危険な場所から避難を開始
- ・その他の人は避難の準備をし、危険を感じたら早めに避難

●はん濫危険水位に到達

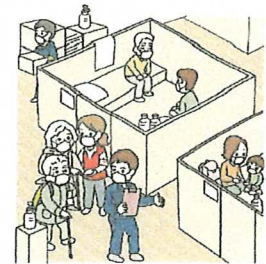
警戒レベル4 (市が発令)
避難指示

- ・全員、危険な場所から避難を開始 (避難が必要ない箇所に民でいる人は除く)
- ・警戒レベル5発令の前に避難を完了しましょう

大雨・洪水警報 発表



立ち退き避難



指定避難所



こちらは枚方市です。0時0分〇〇地区に警戒レベル4・避難指示を発令します。

土砂災害警戒情報 発表

土砂災害警戒区域に住んでいる人は避難しましょう



立ち退き避難



小学校・公民館

大雨特別警報 発表

はん濫が発生

警戒レベル5 (市が発令)
緊急安全確保

- ・今すぐ命を守る行動をとります。
- ・逃げ遅れたら、近くの高い建物や家の2階に上がりましょう。



緊急安全確保
上階へ移動



緊急安全確保
近隣の建物の上階へ移動

避難所・避難ルート等確認マップ（小倉校区周辺）

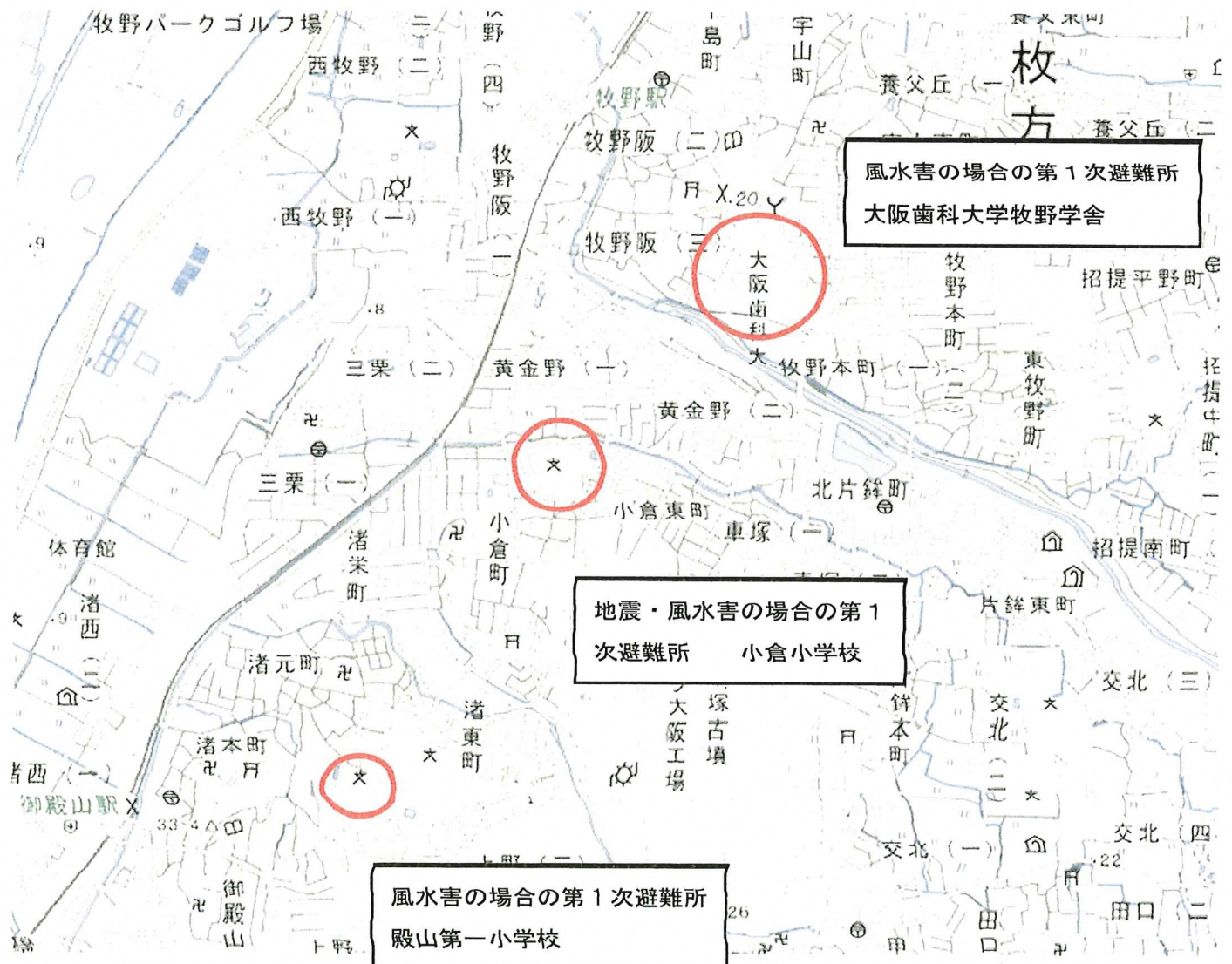
ポイント

避難所

- 自宅から近い避難所を探しましょう。
- 水害時に浸水しない避難所か、土砂災害時に安全な避難所かを確認しましょう。
- 災害時及び災害の恐れのある時に、開設されているか確認しましょう。

避難ルート

- 風水害（浸水害、土砂災害） ➡ 早く避難できるルートを
- 地震 ➡ 遠回りでも安全なルート



災害時の避難路時間表（三栗渚園自治会）

実動避難経路歩き

ルート	避難所 (指定避難所)	避難手段	距離	避難時間 (想定)	ルート説明	実際にかかった時間	感想
1	小倉小学校	徒歩	510m	6分	風水害時ルート 集会所前踏切（三栗）横断～渚栄2区～小倉西	約7分 約10分（車椅子）	住宅内道路のルート グレーチングの溝に車椅子前輪が挟まる
2	小倉小学校	徒歩	440m	5分	地震災害時ルート 集会所前踏切（三栗）横断～黒田川側道～小倉西	約6分 約9分（車椅子）	黒田川沿い道路は 交通量が多く、 ガードレール内通行
3	小倉小学校	車	1140m	2分	六助踏切横断～黒田川側道～小倉西町	約4分	
4	大阪歯科大学牧野学舎	徒歩	1390m	17分	集会所前踏切（三栗）横断～渚栄2区～小倉西町 ～黄金野西～阪公園横～穂谷川～	約20分	交通量多い道筋
5	大阪歯科大学牧野学舎	車	1900m	3分	（六助）踏切横断～黒田川側道～小倉西町 ～黄金野西～阪今池公園横～穂谷川横断	約5分	
6	殿山第一小学校	徒歩	830m	10分	集会所前（三栗）踏切横断～渚栄3区～渚元町（坂道）	約13分	土砂災害警戒区域にかかる崖道が ルート上に。 雨天時は坂道滑り易く注意
7	殿山第一小学校	徒歩	870m	11分	集会所前（三栗）踏切横断～渚栄3区 ～渚東町（甲斐田川側沿い）～渚元町（坂道）	約13分	甲斐田川を渡ってから急勾配の 登り坂が続く。雨天時は坂道が滑 り易く注意
8	殿山第一小学校	車	1670m	3分	（六助）踏切横断～甲斐田川側道沿い～渚東町	約5分	

※距離・避難時間（想定）の数字はパソコン上で検索した参考数字である。
 徒歩は歩幅80cm、車移動は信号機等での停止時間は含まない時間である。
 ルート図は別紙参照。

災害時の避難路時間表（三栗渚園自治会）

実動避難経路歩き

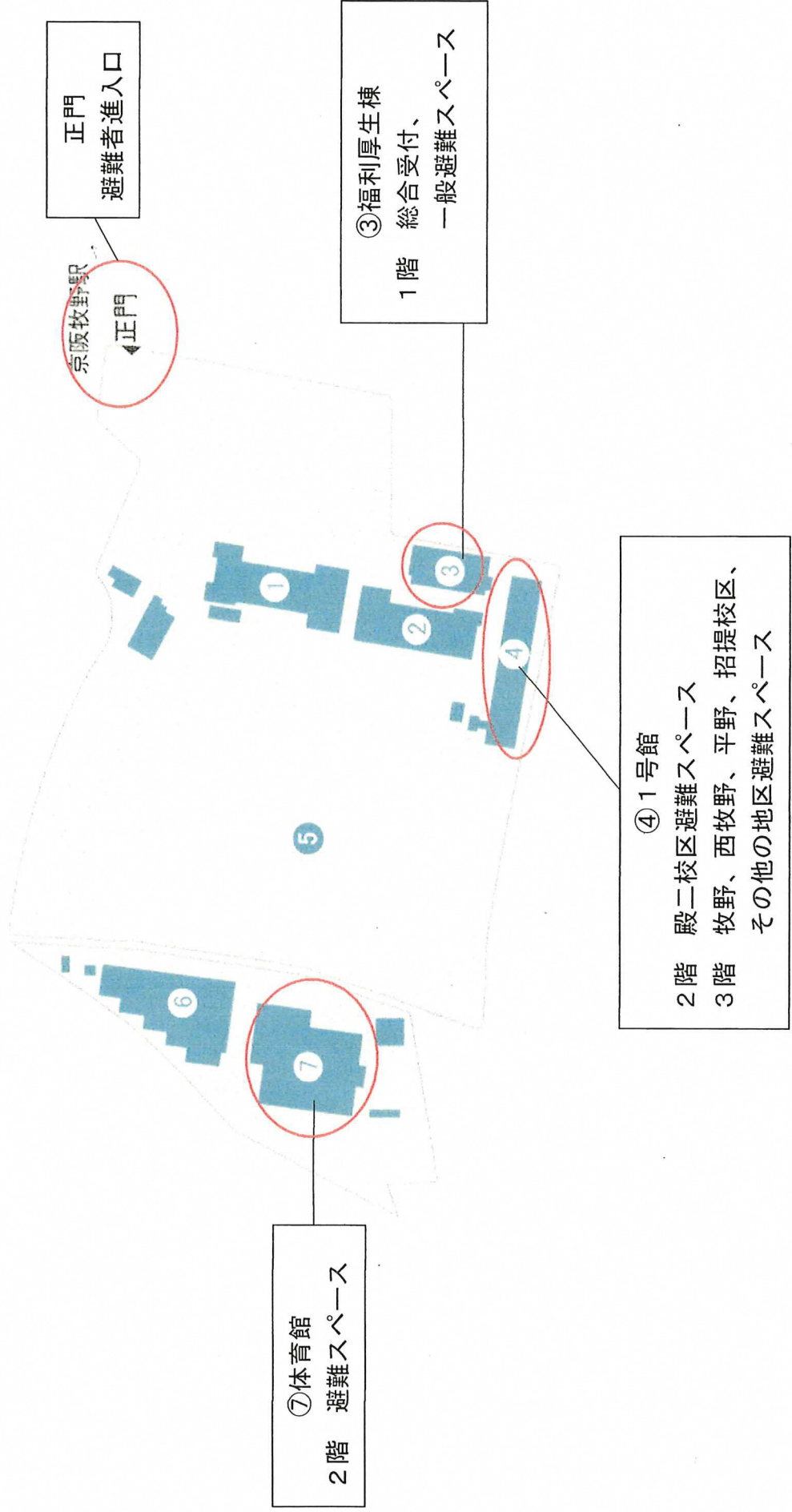
（京阪本線の踏切が、遮断機が下りて横断出来ない時）

ルート	避難所 (指定避難所)	避難手段	距離	避難時間 (想定)	ルート説明	実際にかかった時間	感想
1	小倉小学校	徒歩	1520m	19分	一時避難場所～三栗1丁目～三栗住宅線路沿い 牧野方面～初めての高架をくぐる～黄金野西～	約23分	高架下からは、 交通量が多い道筋
2	小倉小学校	車	2530m	4分	一時避難場所～線路沿い～六助踏切手前右折 ～三栗交差点牧野方面～三栗住宅交差点右折 ～住宅内道路～線路沿いを牧野方面 ～初めての高架をくぐる～黄金野西～	約7分	府道京都守口線の道路状況 により、かかる時間に差が でる
3	大阪歯科大学牧野学舎	徒歩	1390m	17分	一時避難場所～三栗1丁目～三栗住宅線路沿いを 牧野方面～初めての高架をくぐる ～穂谷川～防垣内橋～片埜神社前～	約19分	高架下過ぎから穂谷川まで 緩やかな登り
4	大阪歯科大学牧野学舎	車	2640m	4分	一次避難場所～線路沿い～六助踏切手前を右折 ～三栗の交差点を牧野方面～三栗府営住宅交差点 ～住宅内～線路沿いを牧野方面～初めての高架 くぐる～穂谷川沿い～馬場前橋～片野神社～	約8分	府道京都守口線の道路状況 により、かかる時間に差が でる
5	殿山第一小学校	車	4560m	7分	一次避難場所～線路沿い～三栗の交差点 ～府道京都守口線を枚方方面 ～かささぎ橋交差点～枚方病院～中宮団地～	約11分	府道京都守口線の道路状況 により、かかる時間に差が でる

※距離・避難時間（想定）の数字はパソコン上で検索した参考数字である。
 徒歩は歩幅80cm、車移動は信号機等での停止時間は含まない時間である。
 ルート図は別紙参照。

横断出来ない踏切は、（集会所前踏切）と、（六助踏切）と（御殿山北踏切）と（御殿山駅前踏切）である。

大阪歯科大学牧野学舎 牧野キャンパス 避難場所配置図



点線をはさみで切って使用しましょう。(6人分)

「災害・避難カード」一わたしの情報

ふりがな 名 前		
性 別	血液型	
生年月日		
住 所		
電話番号		
留意事項	持病、飲んでいる薬など	

「災害・避難カード」一わたしの情報

ふりがな 名 前		
性 別	血液型	
生年月日		
住 所		
電話番号		
留意事項	持病、飲んでいる薬など	

避難時は、このカードを持って行く！

避難時は、このカードを持って行く！

「災害・避難カード」一わたしの情報

ふりがな 名 前		
性 別	血液型	
生年月日		
住 所		
電話番号		
留意事項	持病、飲んでいる薬など	

「災害・避難カード」一わたしの情報

ふりがな 名 前		
性 別	血液型	
生年月日		
住 所		
電話番号		
留意事項	持病、飲んでいる薬など	

避難時は、このカードを持って行く！

避難時は、このカードを持って行く！

「災害・避難カード」一わたしの情報

ふりがな 名 前		
性 別	血液型	
生年月日		
住 所		
電話番号		
留意事項	持病、飲んでいる薬など	

「災害・避難カード」一わたしの情報

ふりがな 名 前		
性 別	血液型	
生年月日		
住 所		
電話番号		
留意事項	持病、飲んでいる薬など	

避難時は、このカードを持って行く！

避難時は、このカードを持って行く！

点線をはさみで切って使用しましょう。(6人分)

家族（頼りになる人）の緊急連絡先

氏名	連絡先（職場・携帯など）
◆	◆
◆	◆
◆	◆
◆	◆

電話が
つながらないときは、**171**（災害用伝言ダイヤル）

※音声説明あり

自分の居場所を伝える

家族の居場所を調べる

録音「1」

再生「2」

家族（頼りになる人）の緊急連絡先

氏名	連絡先（職場・携帯など）
◆	◆
◆	◆
◆	◆
◆	◆

電話が
つながらないときは、**171**（災害用伝言ダイヤル）

※音声説明あり

自分の居場所を伝える

家族の居場所を調べる

録音「1」

再生「2」

家族（頼りになる人）の緊急連絡先

氏名	連絡先（職場・携帯など）
◆	◆
◆	◆
◆	◆
◆	◆

電話が
つながらないときは、**171**（災害用伝言ダイヤル）

※音声説明あり

自分の居場所を伝える

家族の居場所を調べる

録音「1」

再生「2」

家族（頼りになる人）の緊急連絡先

氏名	連絡先（職場・携帯など）
◆	◆
◆	◆
◆	◆
◆	◆

電話が
つながらないときは、**171**（災害用伝言ダイヤル）

※音声説明あり

自分の居場所を伝える

家族の居場所を調べる

録音「1」

再生「2」

家族（頼りになる人）の緊急連絡先

氏名	連絡先（職場・携帯など）
◆	◆
◆	◆
◆	◆
◆	◆

電話が
つながらないときは、**171**（災害用伝言ダイヤル）

※音声説明あり

自分の居場所を伝える

家族の居場所を調べる

録音「1」

再生「2」

家族（頼りになる人）の緊急連絡先

氏名	連絡先（職場・携帯など）
◆	◆
◆	◆
◆	◆
◆	◆

電話が
つながらないときは、**171**（災害用伝言ダイヤル）

※音声説明あり

自分の居場所を伝える

家族の居場所を調べる

録音「1」

再生「2」

かかりつけの病院

病院名	
所在地	
電話	
担当医	
既往歴 アレルギー 服薬中の薬など	※お薬手帳のコピーなど 一緒に入れておく方法もあります

注:災害時には電話がつながりにくくばる場合があります

警察	110
枚方警察	(072)845-1234
消防・救急	119
枚方市役所	(072)841-1221
枚方市地域包括 支援センター	
《メモ》	

ハザードマップポータルサイト
～身のまわりの災害リスクを調べる～

浸水ナビ（国土地理院）

知りたい場所の浸水リスクがわかる

国土交通省 地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）

●手順

河川検索

- ① 淀川
- ② 検索結果 淀川水系 淀川
- ③ 破堤地点を選択してください
- ④ 破堤地点をクリック
- ⑤ アニメーション経過時間が表示
- ⑥ 浸水深の変化を見たい位置を選択してください
- ⑦ 人物と浸水深のイラストが表示
- ⑧ アニメーション表示で動画開始クリック（動画速度を調整）

The screenshot displays the 'Inundation Navigation System' interface. On the left, there is a sidebar menu with options like '河川検索' (River Search), 'アニメーション表示' (Animation Display), and '破堤点リスト' (Breach Point List). The main area shows a map of the Sagami River region, with labels for '三栗(二)' (Mitsurugi 2) and '黄金野(一)' (Ougonno 1). A red location pin is placed on the map. An 'アニメーション経過時間' (Animation Progress Time) window is overlaid on the map, featuring a progress bar and playback controls. To the right of the map, a vertical scale indicates water depths of 1m and 2m, accompanied by an illustration of a person and a child. A data box shows simulation parameters: '時間: 30時間' (Time: 30 hours), '長: 4.035km' (Length: 4.035 km), and '最大浸水深: 1.63m' (Maximum Inundation Depth: 1.63 m). The map also shows '小倉果町' (Ogura E町) and '歯科大' (Dentistry University).

命を守るための適切な避難行動について

風水害時における避難の前提・考え方

●立ち退き避難と屋内安全確保について

浸水想定特性と居住区分に応じる避難の関係(⇒立ち退き避難が基本)

		浸水想定区域						
		浸水深			浸水継続時間		浸水継続時間	
家屋倒壊等 氾濫想定区域		5m～	3m～5m	0.5m～ 3m	～0.5m	72時間～	24時間～ 72時間	～24時間
木造平屋	居住階	立ち退き避難	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保
		立ち退き避難	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保
1階	居住階	立ち退き避難	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保
		立ち退き避難	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保
		立ち退き避難	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保
2階	居住階	立ち退き避難	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保
		立ち退き避難	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保
3階以上	居住階	立ち退き避難	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保	立ち退き避難	立ち退き避難	屋内安全確保

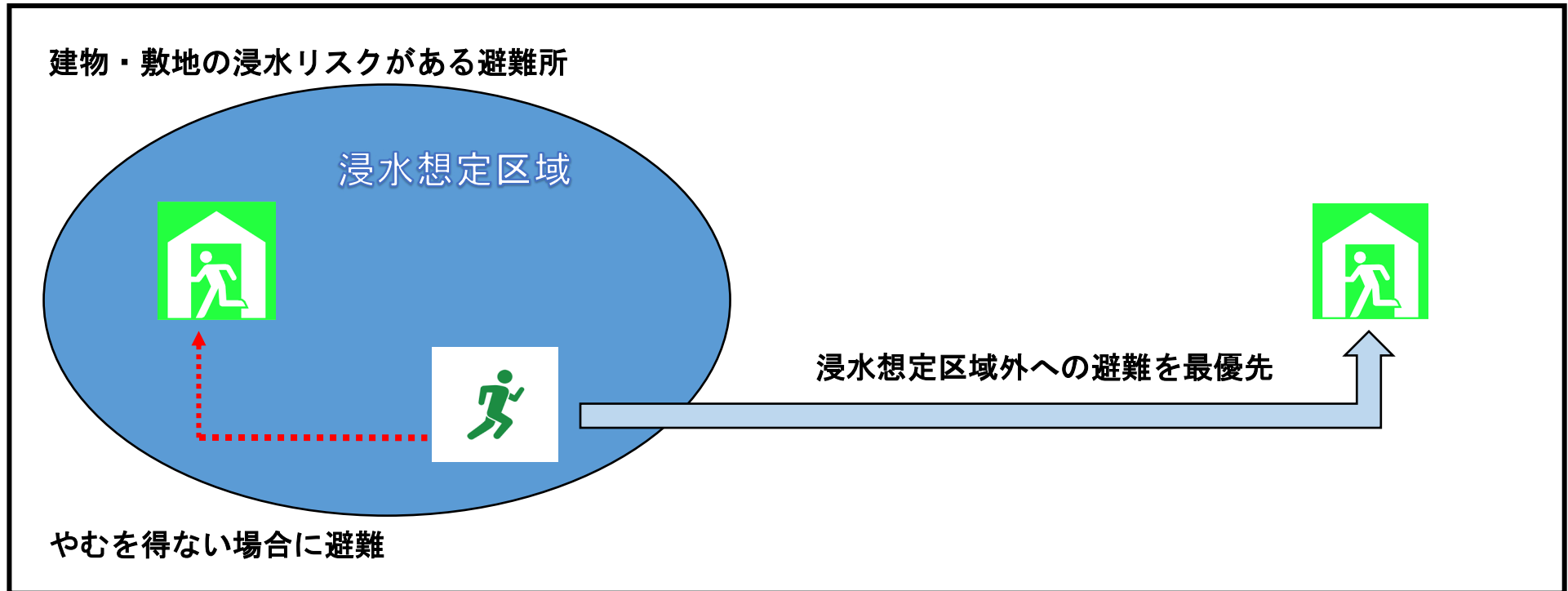
※屋内安全確保を行うためには少なくとも以下の条件が満たされる必要がある

- 1 自宅・施設等が家屋倒壊等氾濫想定区域に存していないこと
- 2 自宅・施設等に浸水しない居室があること
- 3 自宅・施設等が一定期間浸水することにより生じる可能性がある支障(※)を許容できること

※支障の例: 水、食料、薬等の確保が困難になるおそれ、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなる恐れ

浸水想定区域拡大に伴う校区外への避難について

立ち退き避難をする場合は、浸水想定区域外避難所への避難が望ましい



三栗渚園地区近隣の市の指定避難所は、

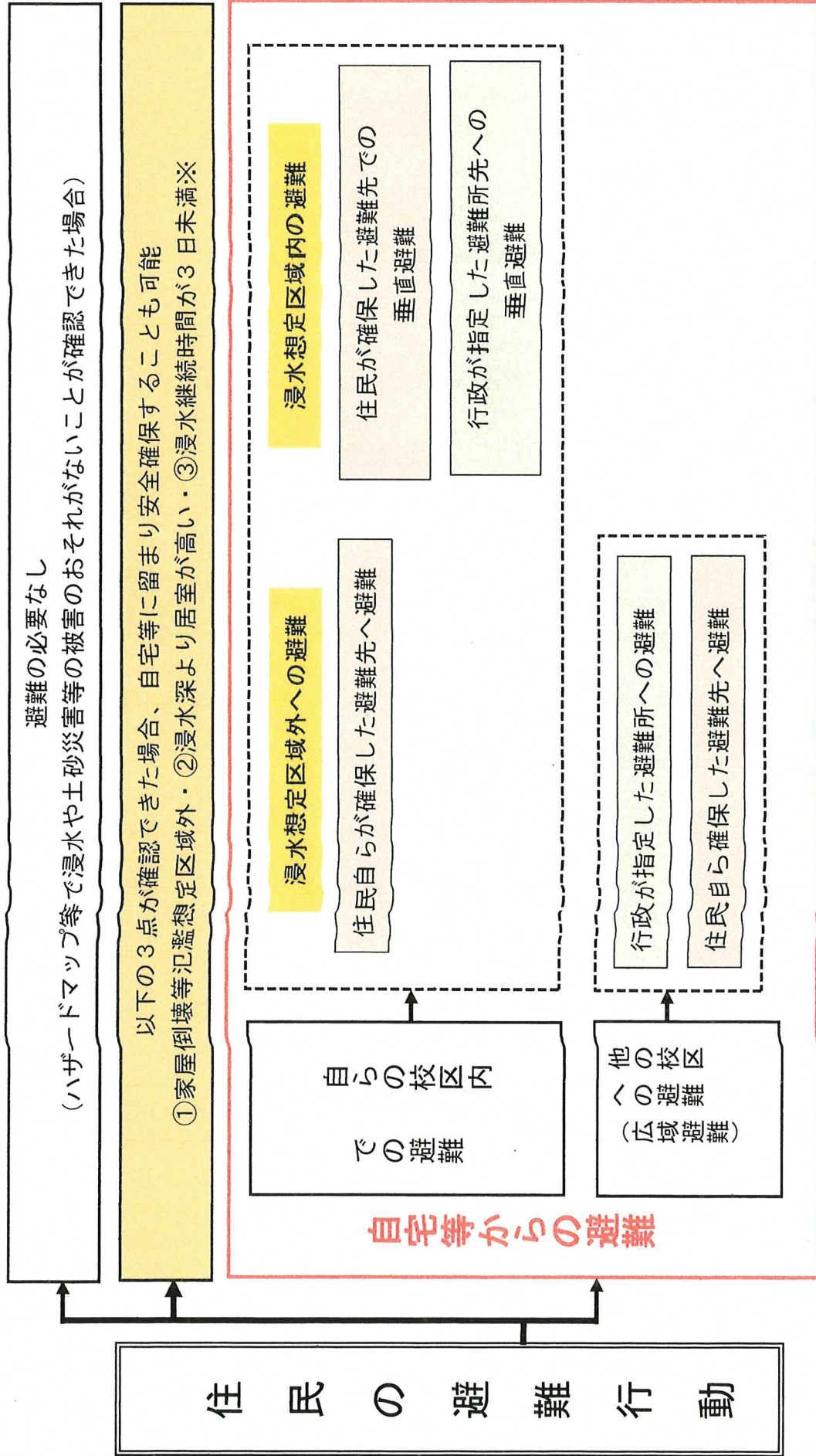
三栗渚園集会所から603m、徒歩11分の小倉小学校（浸水想定区域）

三栗渚園集会所から876m、徒歩16分（坂道あり）の殿山第一小学校（浸水想定区域外）ルート①

三栗渚園集会所から824m、徒歩15分（坂道あり）の殿山第一小学校（浸水想定区域外）ルート②

三栗渚園集会所から1283m、徒歩24分の大阪歯科大学牧野学舎（浸水想定区域外）

水害時の住民の避難行動の整理

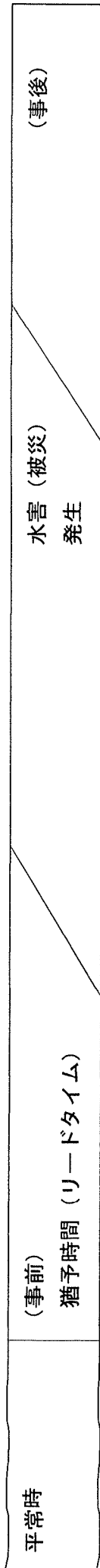


※水、ガス、水道、トイレ等の使用が出来なくなる恐れ等の支障を許容できる目安を3日と仮定したもの

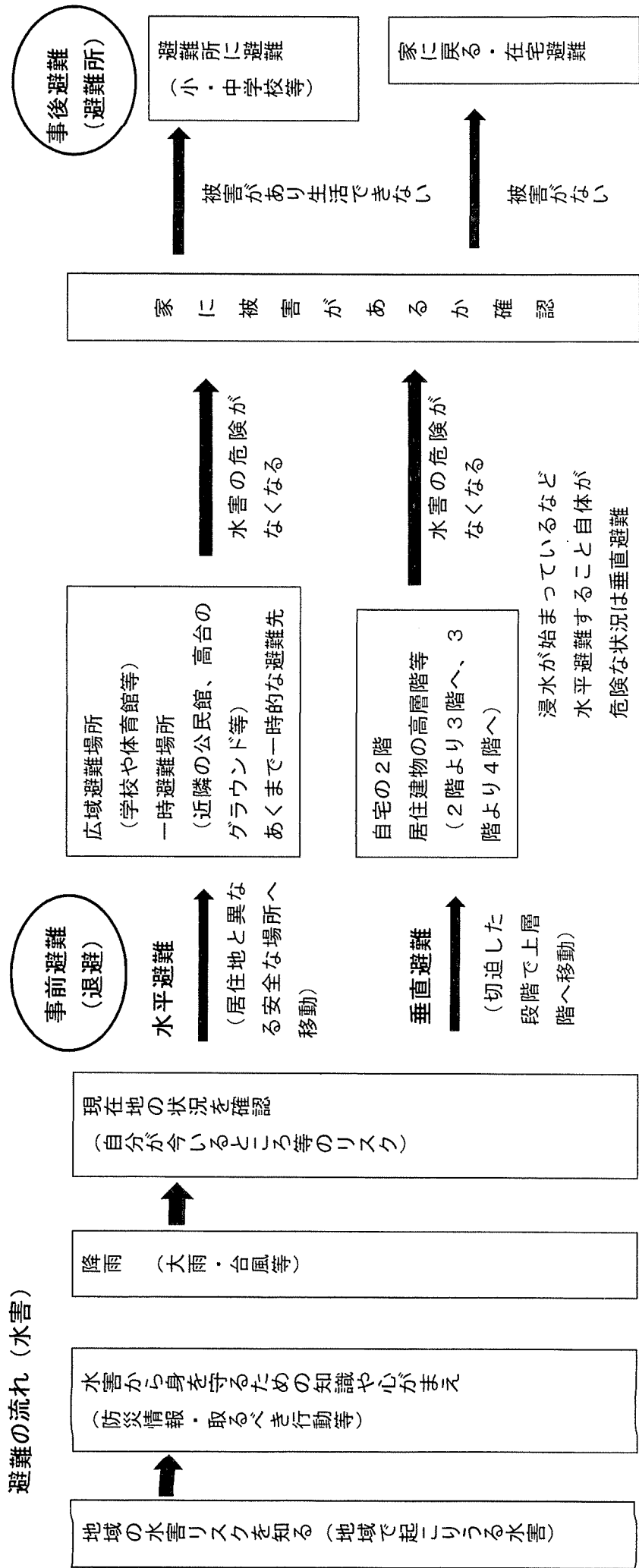
水災害からの避難 ポイント①

水害に関する避難の手順やタイミングを分かりやすく実践的に整理

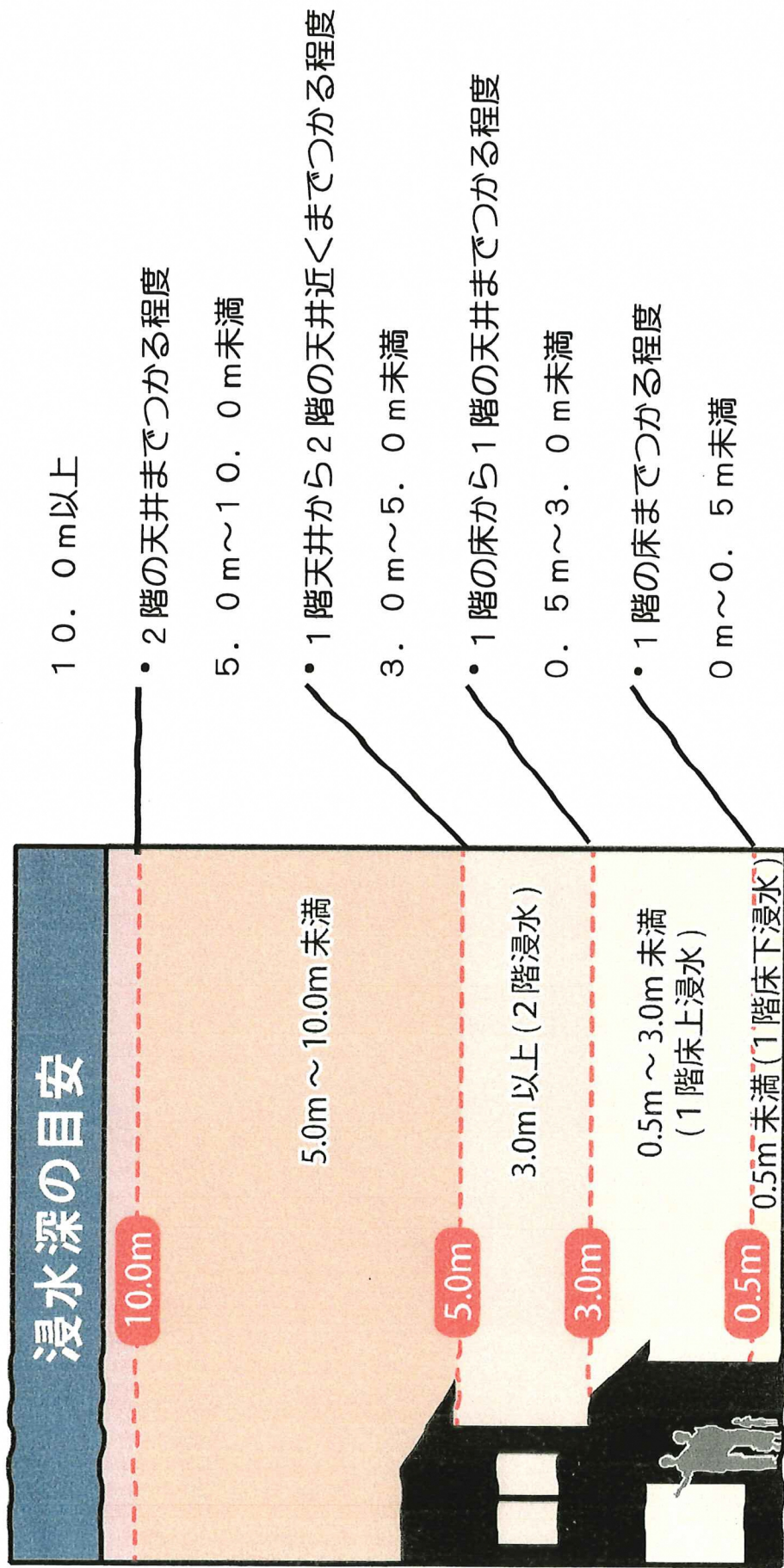
- ・ 実際の水害を想定したタイムラインを整理
- ・ 水害は降雨から危険な状況になるまで猶予時間（リードタイム）がある進行性の災害であり、事前に避難することが重要



避難の流れ (水害)



浸水深の目安



枚方市の海拔・標高 (小倉校区周辺)

枚方市で、目印となる一部の駅・学校・施設の海拔・標高を調査してみました。

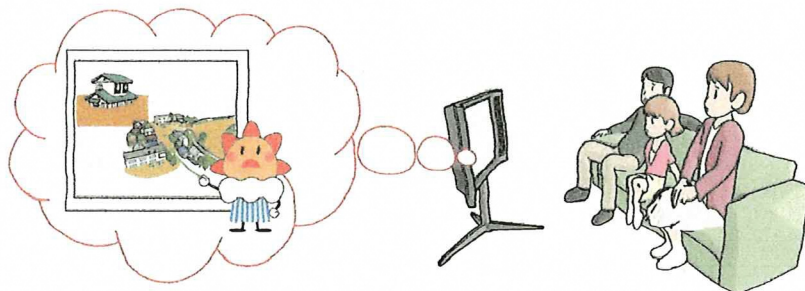
地震や津波、台風・大雨による洪水・浸水・川の氾濫・堤防決壊が発生した時、避難する場合にご参考ください。

施設名	海拔/ 標高	住所	備考
小倉小学校	12m	小倉町29-1	最寄駅牧野駅から直線距離で823m
牧野小学校	12.5m	上島東町4-18	" 1181m
西牧野小学校	8.5m	西牧野2-1-1	" 407m
交北小学校	20.4m	交北2-30-5	" 1745m
平野小学校	21.5m	招堤中町1-53-1	" 1447m
殿二小学校	22.9m	養父丘2-7-53	" 1329m
殿一小学校	30.9m	上野1-6-5	最寄駅御殿山駅から直線距離で545m
磯島小学校	9.4m	磯島北町3-1	" 629m
山田小学校	19m	甲斐田町1-27	" 1522m
大阪歯科大牧野学舎	21.7m	牧野本町1-4-4	最寄駅牧野駅より直線距離で506m
中央図書館	19m	車塚2-1-1	牧野駅から徒歩20分
きららプラザ	21m	車塚1-1-1	
コマツ大阪工場	22m	上野3-1-1	
牧野駅	15m	牧野阪2-4-2	
御殿山駅	10m	御殿山町2-2	
枚方市駅	9m	岡東町19-14	
樟葉駅	11m	樟葉花園町14-1	
山田池公園	43m	山田池公園1	小倉小学校から徒歩40分、3.2km
枚方市役所	9m	大垣内町2-1-20	
車塚古墳	26m	車塚1	最寄駅牧野駅から直線距離で1179m
阪今池公園	11m~ 18m	黄金野1-5	最寄駅牧野駅から直線距離で456m
粟倉神社	18m	小倉町1	
御殿山神社	32.7m	渚本町12-55	

黄金野 (ちびっこ広場)	12m	黄金野2-18	
黄金野西 (自治会集会所)	10.5m	黄金野一丁目2	
小倉 (京阪バス停留所ター ン場)	22m	小倉町6-1	
小倉東 (ちびっこ広場)	14.7m	小倉東町21番	
小倉西 (地区集会所)	11m	小倉町13	
三栗1丁目 (空き地)	9.7m	三栗一丁目9番	
三栗渚園 (三栗東公園)	9m	三栗1丁目12	
三栗住宅 (中央公園)	9.4m	三栗2-10	
渚栄3 (ちびっこ広場 石こ ろ公園)	9m	渚栄町30番	
渚栄2 (表面管理公園2)	10.6m	渚栄町23番	
馬場先橋	17.5m	黄金野1-5	
二千年橋	19m		
京阪踏切(三栗集会所)	9.4m		
京阪踏切(三栗~小倉 西)	10.3m		

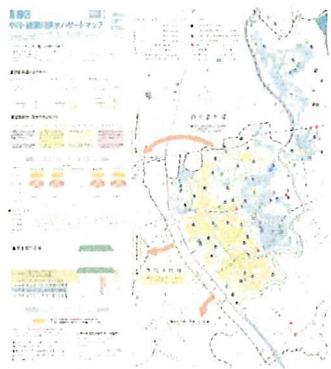
河川の増水や氾濫などに対する住民の水防対策と避難行動

指定河川に洪水予報が発表された場合には、市町村からの避難指示（警戒レベル4）等に留意し、身の安全を守る行動を取りましょう。



報道機関等で気象情報を入手

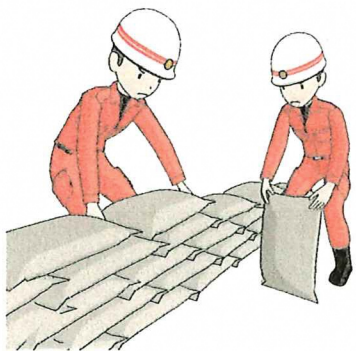
気象庁ホームページ「防災気象情報」の「指定河川洪水予報」で公開も



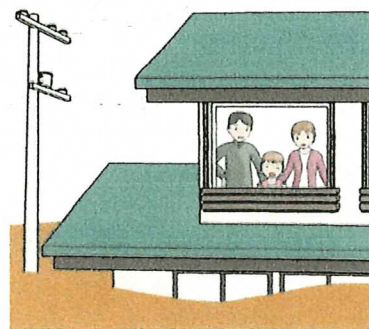
(0) 自宅が浸水想定区域内にあるかあらかじめ、ハザードマップで確認



(1) まずは避難。開設されている近くの避難所、丈夫な建物の2階以上か高台に。避難先、避難経路を把握しておくことが重要



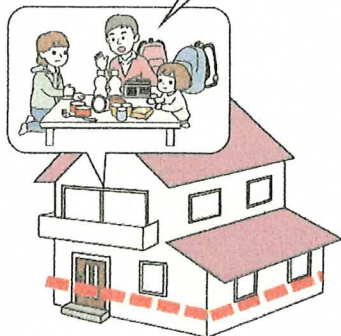
(2) 土嚢積みなどの対策も有効



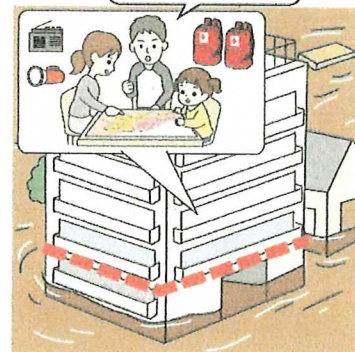
(3) 万が一浸水してしまった場合には、頑丈な建物の2階以上へ避難した方が安全な場合もあります



2階なら安全！
今夜はみんな2階で寝よう！



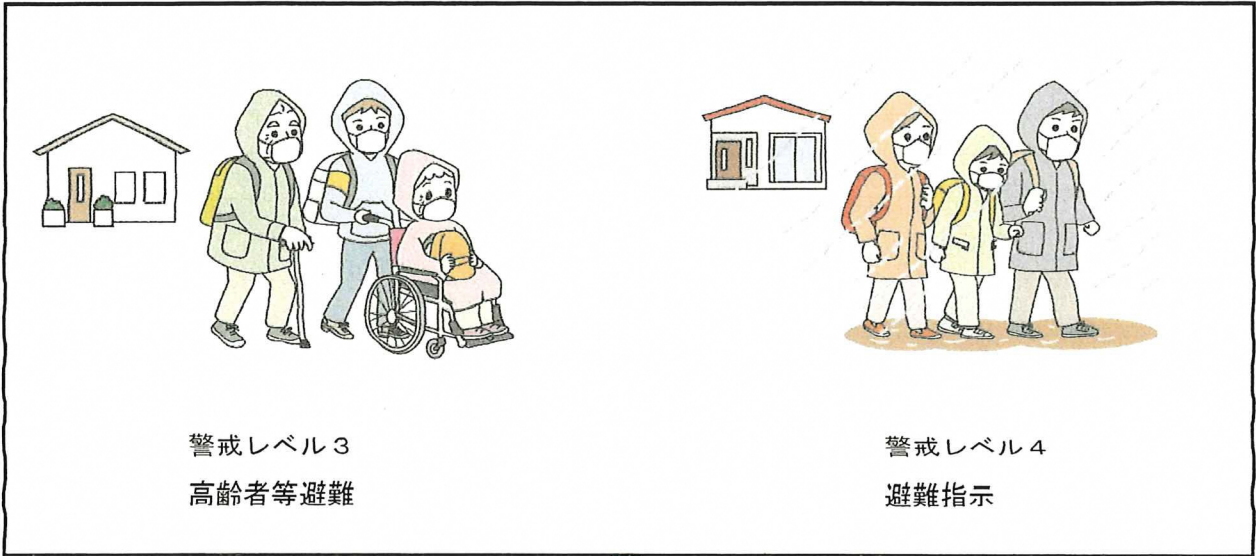
ここなら安全！



警戒レベル3 高齢者等避難

警戒レベル4 避難指示

避難行動(立ち退き避難)



警戒レベル3
高齢者等避難

警戒レベル4
避難指示



立ち退き避難
小中学校・公民館



立ち退き避難
指定緊急避難場所



立ち退き避難
親戚・知人宅



立ち退き避難
ホテル・旅館

警戒レベル5 緊急安全確保

避難行動(緊急安全確保)



緊急安全確保
上階へ移動中



緊急安全確保
上階へ移動



緊急安全確保
近隣の建物の上階へ移動



緊急安全確保
崖から離れた部屋へ移動

警戒レベル3 高齢者等避難

警戒レベル4 避難指示

避難行動(屋内安全確保)

※ハザードマップで、自宅にいても大丈夫かを確認する



屋内安全確保
上階へ移動



屋内安全確保
上階へ留まる(待避)

